～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研 究 課 題 名 ： 特発性肺線維症の急性増悪に対する抗線維化薬の有用性に関する検討　　』

研究機関名　　東邦大学医療センター　大森　　病院

研究責任者　　呼吸器内　　科　　職位・氏名　　助教　清水宏繁

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、特発性肺線維症の急性増悪に対する抗線維化薬の有用性に関することを目的とした研究に利用します。AE の発症率は年間 5-15%と報告されており稀ではなく、かつひとたび発症すると発症後の平均生存期間は 2.2 ヶ月とされその予後は極めて不良です。本邦におけるコホート研究においても急性増悪は IPF の死因 のうち最も多くを占めるとされており、急性増悪発症後の治療介入は IPF 診療において極めて重要な課題 です。我々は急性増悪発症後、2 週間以内に抗線維化薬を投与した際の有効性と安全性を後方視的に検討することを目的としたこの研究で得られる成果は、特発性肺線維症急性増悪の治療につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供はありません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料：なし

情報：病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報　等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが､個人を特定できる情報を報告･公開することはありません。

急性増悪発症後 3 ヶ月、6 か月時点での生存率を急性増悪発症後 2 週間以内に抗線維化薬を投与した群（投与群）と非投与群で比較していきます。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 4 月より利用を開始します（院長許可日～2027 年 3 月 1 日）

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院　病院長　酒井謙

【試料・情報の取得方法】

対象者：2014年3月1日~2024年3月1日までに東邦大学医療センター　大森　　病院　呼吸器内科において、　特発性肺線維症急性増悪の診断を受けた方の診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科　研究代表者：　清水宏繁

役職：　助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院　呼吸器内科

清水宏繁、岸一馬、一色琢磨、坂本晋、鹿子木拓海

国家公務員共済組合連合会虎ノ門病院	宮本篤
自治医科大学呼吸器内科学講座	山内浩義
済生会熊本病院	阿南圭祐
順天堂大学呼吸器内科学講座	加藤元康
国立病院機構京都医療センター臨床研究センター	後藤　禎人

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院　呼吸器内科　　清水宏繁

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、

2025 年 10 月 1 日までに下記へご連絡下さい。

【連絡先および担当者】　　東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科

職位・氏名　助教　清水宏繁

電話　03-3762-4151　　内線 77195